

創立三十周年記念式典

式辞

まだまだ残暑厳しい毎日ですが、朝夕には秋の訪れを感じるころになりました。

本日この佳き日に、大阪府立中津支援学校創立三十周年記念式典の開催にあたり、公私ともにご多用のところ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、厚くお礼申しあげます。ありがとうございます。

本校は、隣接する大阪整肢学院に入所する子どもたちが学ぶ学校として、昭和六十二年四月に大阪府立中津養護学校として設立されました。その後、校名を中津支援学校と変更しましたが、これまで、将来を見据え心身の成長と生きる力を育む学校として発展し、今年、めでたく創立三十年目を迎えることができました。

これも、ひとえに大阪整肢学院の皆様を始めとして、大阪府教育庁や地域の方々より暖かいご支援ご協力をいただき、さらには、教職員一人ひとりの熱い思いとそれに応えた児童生徒諸君の努力の賜です。ここに慎んで深い感謝の気持ちと敬意を表すものであります。

さて、児童生徒の皆さん、いま三十年前に学校ができたと言いましたが、実際にこの場所ですご学校が始まったのは、その時よりもさらに前のことでした。一九五二年に大阪府立整肢学院ができ、その病室で四人の先生が、みなさんの先輩と一緒に勉強を始めました。これが中津支援学校の本当の始まりです。今から六十四年前のことです。その頃は整肢学院の建物は木造で学校もなく、勉強も小学部と中学部だけでした。高等部がなかったので中学部を卒業すると学校で勉強することはありませんでした。広い教室がほしい、中学部を卒業しても学校に行きたいというみんなの願いが実現して、三十年前に今の学校と学院の建物が作られました。そして、高等部も始まりました。

スロープの壁に、児童生徒宣言「かがやく ぼくたち 私たち」の額が掛かっているのを知っていますか。そこには願いが叶った喜びと、これからの希望が生き生きと書かれています。皆さんにも是非知っておいてほしいと思います。そして、これから勉強をするときに心の支えとし、また、励みとしてほしいと思います。

私たち教員も、児童生徒と一緒に学習する中で成長することができました。児童生徒の皆さんは、私たち教員にとって鏡であり、かけがえのない宝物なのです。これからも学校ですっかりと勉強し、自分のこと、友達のことを大切にしてください。

これまで、高等部から百七十人の先輩たちが卒業していきました。今日の午後には、同窓会の皆さんが集まって創立三十周年を祝ってくださいます。これからも、在校生、卒業生、教職員みんなが、校歌の歌詞にありますように「中津のなかま」として一緒に力強く進んでいきましょう。

結びに、創立三十周年記念事業を実施するにあたり、大阪新梅田シテイライオンズクラブ様には記念品を寄贈していただきました。また、大阪整肢学院様より式場のお花をご用意いただきました。また、元本校校長先生方よりご寄付をいただき記念誌と記念品を作成することができました。皆様のご厚意に対しまして、深くお礼申しあげます。ありがとうございました。

三十周年という節目の年に当たり、改めてこれまでの本校の歴史に思いを致すとともに、これまで以上に保護者や大阪整肢学院の皆様、そして府民の皆様の期待に応えられる教育を、教職員一同力を合わせて推進してまいります。

本日も臨席の皆様方には、今後とも本校の教育活動に対して、ご理解とご支援を賜りますことをお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念申しあげ、式辞といたします。

平成二十八年九月十日

大阪府立中津支援学校 校長 井上慎一